

第 18 回 九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト 審査委員のご紹介

<敬称略、委員長以外 50 音順>

① 審査委員長【二次審査、最終審査】

古賀マネージメント総研株式会社 代表取締役社長 古賀 光雄



S59 公認会計士登録
S52 等松・青木監査法人（現 監査法人トーマツ）入所
H7 トーマツ コンサルティング株式会社代表取締役
H9 トーマツ・ベンチャーサポート株式会社設立、代表取締役
H24 古賀マネージメント総研株式会社設立、代表取締役
H27 ニッポン新事業創出大賞経済産業大臣賞（支援部門・最優秀賞）受賞
トーマツ在職時から九州でのベンチャー支援に取り組む。
退職後も古賀マネージメント総研株式会社を創立し、トーマツで築き上げたネットワー
クを活用してベンチャー支援を行っている。

② 審査委員【二次審査、最終審査】

株式会社電通九州 オープンイノベーション室長 小野 和美

日本経済新聞社、外資系広告会社勤務を経て Uターンし、(株)電通九州に勤務。
一貫してマーケティング、戦略プランニング、ブランディング等に携わる。
現在、同社コミュニケーションデザイン局長として、コミュニケーション
プランニング、デジタル、通販に関連する 3 部署を管轄する一方、
昨年発足したオープンイノベーション室の室長を兼務。



③ 審査委員【最終審査】

QB Capital, LLC 代表パートナー 坂本 剛



大手・ベンチャー企業を経験し、2004 年から九大知的財産本部において大学発ベン
チャー支援を行う。2010 年に産学連携機構九州代表取締役役に就任。2015 年に QB
キャピタルを設立し QB ファンド(約 31 億円)を組成、九州地域の大学発ベンチャー
に投資を行う。現職のほか、福岡ベンチャークラブ理事、エディア(マザーズ上場)
社外取締役、Kyulux (投資先:九州大学発ベンチャー)社外取締役、ひむか AM フ
ァーマ (投資先:宮崎大学発ベンチャー)社外取締役等を務める。

④ 審査委員【最終審査】

西日本鉄道株式会社 事業創造本部 新規事業推進部
部長 佐藤 良一

西鉄運輸(株)代表取締役社長、西鉄プラザ(株)代表取締役社長を歴任し、
2018 年 4 月から西日本鉄道(株)事業創造本部 新規事業推進部 部長兼
(株)NJ アグリサポート代表取締役社長に就任(現職)
昨年発足したオープンイノベーション室の室長を兼務。



⑤ 審査委員【最終審査】

株式会社 晴天(あおぞら) 代表取締役社長 白水 ルリ子



学生時代にアメリカ留学、その後、英会話教室やイベント企画会社を設立。1993
年マイケルジャクソンの福岡ドーム公演を主催し成功させるが、創業者の 1 人が
売り上げを搾取し夜逃げしたため倒産。これにより 1 億円を超える個人負債を抱
えるが、10 年かけて借金を完済。返済中の 2003 年に葬儀専門のアウトソーシ
ング株式会社晴天を設立し、参入が難しいといわれるお葬儀業界で異業種参入な
らでのアイデアや発想をベースに、人材派遣やコールセンター、葬儀のプロを育
成するスクールの事業を展開している。2010 年にスタートしたコールセンター
事業は、今では日本 No1 のシェアを獲得している。

⑥ 審査委員【二次審査、最終審査】

株式会社グランドビジョン 代表取締役社長 中尾 賢一郎

大学卒業後に鹿児島の広告企画会社に入社。26歳の時に電通九州に転職し、約9年に渡ってプランナーとして、様々なプロジェクトに関わる。
2011年(株)グランドビジョン創業。事業プロデュース業を生業にし、福岡本社、東京オフィスを構えマーケティングや独自のブランディングで企業の課題解決や事業発展に貢献する。2018年2月にはAIによる「通販番組予測システム」をローンチ。またグループ会社「マイストーリー」の代表としてインフルエンサーマーケティングやコンテンツビジネスにも力を入れる。



⑦ 審査委員【最終審査】

九州電力株式会社 コーポレート戦略部門
インキュベーションラボ長 中村 典弘

九州電力入社後、火力および再生可能エネルギー発電所の計画、設計、建設、運營業務、並びに各種新技術の調査業務、全社エネルギー戦略企画業務及び新規事業の創出業務に従事
2018年2月 コーポレート戦略部門 部長(インキュベーション担当)
2018年7月 現職

⑧ 審査委員【二次審査】

九州旅客鉄道株式会社 事業開発本部企画部
担当部長 野栄 明文

1995年 九州旅客鉄道株式会社
2008年 事業開発本部企画部企画課 副課長
2010年 総合企画本部経営企画部 企画国際室長
2014年 (株)JR博多シティ 常務取締役
2017年 事業開発本部企画部 担当部長



⑨ 審査委員【二次審査、最終審査】

日本弁理士会九州支部 副支部長 羽立 幸司
(知的財産総合事務所 NEXPAT 所長・弁理士)

弁理士として経営者目線でベンチャー・中小企業支援に取り組んでいるとともに、(一社)九州の食の理事として九州の食のブランド化に尽力している。
日本弁理士会知的財産経営センター運営委員。
第3回モノづくり連携大賞(日刊工業新聞社主催)大賞受賞など。

⑩ 審査委員【二次審査、最終審査】

株式会社 Fusic 取締役副社長 浜崎 陽一郎

九州大学 大学院在学中にシステム開発会社「株式会社 Fusic」を起業。
「クラウドコンピューティング」「人工知能」分野をコア技術として、数多くのシステム開発プロジェクトを手がける。また日本で圧倒的シェアを持つ通販支援ツール「売れるネット広告つく ーる」、多くの多国籍企業が導入する人事評価ツール「360度評価支援システム」、開発支援ツール「mockmock」、学校向け連絡網ツール「Sigfy」等を提供。2017 九州・山口ベンチャーマーケット大賞受賞。RKB 毎日放送「今日感テレビ」火曜日コメンテーター。





⑪ 審査委員【最終審査】

株式会社ドーガン・ベータ 代表取締役パートナー 林 龍平

住友銀行、シティバンク、エヌ・エイを経て、ドーガン参画。主にベンチャー支援業務に取り組む。3本総額31億円のベンチャーファンド立ち上げを行い、これまでに約30件の投資を行ったほか、起業家支援のためのシリコンバレー型ワーキングスペース「OnRAMP」を開設、地元起業家のコミュニティ形成支援を行っている。

⑫ 審査委員【最終審査】

一般社団法人九州経済連合会 産業振興部長 文野 唯史

S52 東陶機器株式会社（現 TOTO 株式会社）入社

H14 同 信越支社支社長。

その後同社販売統括本部 TSC 推進室長を経て販売会社 TOTO エムテック（株）取締役管理本部長、TOTO(株)に帰任後販売統括本部上席主幹。

H27 一般社団法人九州経済連合会 産業振興部 副部長

H29 現職



⑬ 審査委員【二次審査】

西部ガス株式会社 関連事業部 マネジャー 松里 壮秀



1993 西部ガス（株）入社

2001 社会保険労務士試験合格

2006～2009 （社）日本ガス協会企画部出向

2016 九州アジア経営塾第11期卒業

2018 別府大分毎日マラソン完走

経理部にて決算、資金調達、企業年金の運用の経験を経て現職では、グループ会社の経営支援、新規事業の支援を行っている。自分自身は財務面で事業を評価する経験が長い、今回のコンテストでは、数値では測れない若い情熱に触れることを楽しみにしている。

⑭ 審査委員【最終審査】

経済産業省 九州経済産業局 地域経済部長 松下 達也

1986年通商産業省（現 経済産業省）入省。

その後、経済産業政策局国際知的財産制度研究官、製造産業局模倣品対策室長、特許庁総務部普及支援課長、お茶の水女子大学特任教授（リーディング大学院推進センター副センター長）などを経て、2018年7月より現職。



⑮ 審査委員【二次審査】

日本政策金融公庫 国民生活事業 福岡創業支援センター 所長 宮本 大資



H10/4 国民金融公庫（現日本政策金融公庫）入庫

以降 福岡西支店、久留米支店、本店に勤務

創業/第2創業、事業承継、ソーシャルビジネス、事業再生など 営業・融資審査担当

H27/4 松江支店 融資課長

H30/4 福岡創業支援センター 所長

⑯ 審査委員【最終審査】

株式会社やすや 代表取締役会長 矢頭 美世子

自然食品の通信販売やすやを含め、国内外合わせて約10のグループ会社の代表をつとめる。社員の潜在能力開発に情熱を注ぎ、元気で活気溢れる会社に育てる。人材育成を自分の使命と語り、現在は女性経営者として得た知識や経験をもとに、社会貢献として地域活動等を行っている。

2011年 福岡 GOOD AGING 賞を受賞

2013年 第12回福岡県男女共同参画を受賞

2018年 外務大臣表彰を受賞、ベトナム国家主席より友好徽章を授与



⑰ 審査委員【最終審査】

株式会社ジャフコ 九州支社長 山形 修功

1992年日本合同ファイナンス(株)(現株ジャフコ)入社。国内ベンチャー・中堅企業への投資・上場支援、米国ベンチャー企業の日本における事業開発支援、イスラエル企業への投資、アジア企業への投資(マニラ、シンガポール駐在)、国内投資審査等を経て、2007年より現職。九州における投資先上場実績は、ウチヤマホールディングス、モバイルクリエイティブ、バガコーポレーション、WASHハウス等。

⑱ 審査委員【二次審査、最終審査】

株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ
取締役副社長 山口 泰久

1986年日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行、2006年行内ベンチャーとしてVCを設立し、本邦初の知財ファンドの運用開始。DBJキャピタル(株)取締役等を歴任し、2017年5月より、株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ・マネジングディレクターに就任。九州・大学発ベンチャー振興会議と連携するFFGベンチャーファンド(総額50億円)の運用を担当し、大学発ベンチャーの育成を行っている。



平成30年11月27日 九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト実行委員会 事務局